



第1号谷止工

【写真4】

床掘後



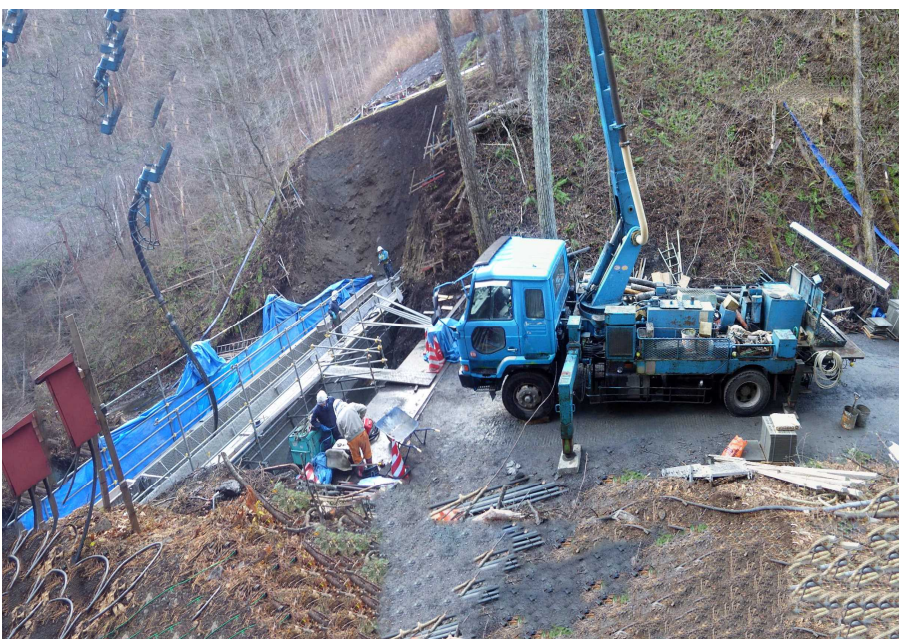
第1号谷止工

【写真5】

型枠及び足場組立状況

コンクリート残存型枠使用

工事名 救済地区災害関連緊急治山工事  
 工種 谷止工  
 位置 谷止上  
 設計寸法 作業状況



第1号谷止工

【写真6】

コンクリート打設状況全景

ポンプ打設





### 第1号谷止工

#### 【写真7】

コンクリート打設状況

脱型を要せず、打設回数を減  
(コンクリート表面気泡抜き器具)  
を使用し品質向上



### 第1号谷止工

#### 【写真8】

打継目処理剤測定

ブリード・ボンド工法(NETIS)  
の散布量測定

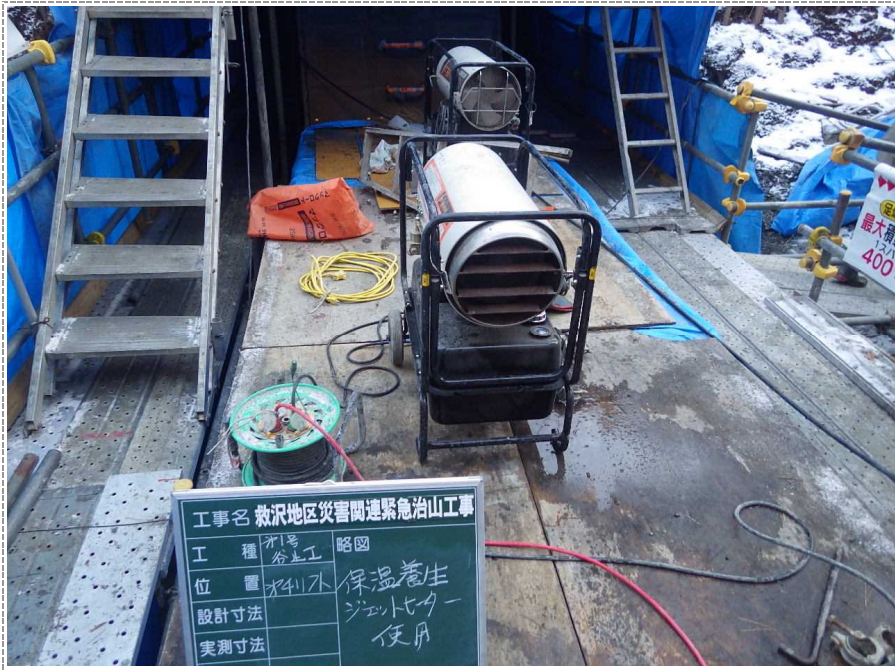


### 第1号谷止工

#### 【写真9】

打継目処理剤散布

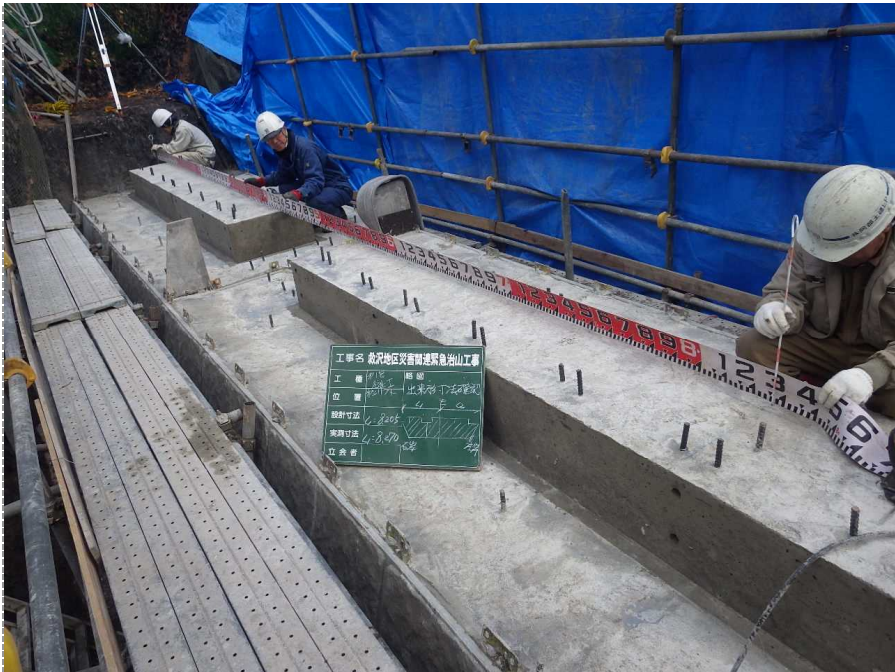
ブリーボンド散布処理により  
ブラッシング不要でレイタンス  
除去でき省力化



第1号谷止工

【写真10】

ジェットヒーター保温養生



第1号谷止工

【写真11】

出来形管理



第1号谷止工

【写真12】

本堤出来形全景

堤体の両側面にコンクリート  
残存型枠使用



### 第1号谷止工

#### 【写真13】

側壁工の保温養生

コンガード(コンクリート養生電熱シート NETIS)を採用火器を使用しないため小規模箇所でも容易に保温、火災の防止も図られる。



### 第1号谷止工

#### 【写真14】

埋戻し締固め状況



### 第1号谷止工

#### 【写真15】

むしろ張工と木製法枠工



第2号谷止工

【写真16】

施工前



第2号谷止工

【写真17】

施工後



第2号谷止工

【写真18】

床掘状況



## 第2号谷止工

### 【写真19】

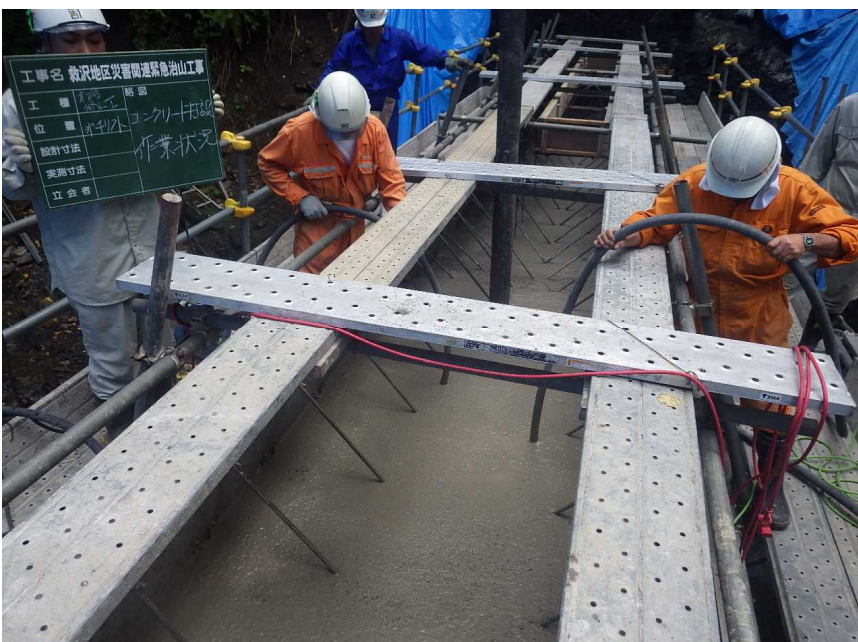
鉛直打ち継ぎ目にも  
 コンクリート残存型枠採用  
 脱型を要せず、打設回数を減  
 らし、工程短縮と省力化図る。



## 第2号谷止工

### 【写真20】

コンクリートポンプ車と生コン車  
 の配置状況



## 第2号谷止工

### 【写真21】

コンクリート打設状況

打設後、ピカコン (NETIS)  
 (コンクリート表面気泡抜き器具)  
 を使用し品質向上



工事名 救済地区災害関連緊急治山工事	
工種	修繕工
位置	打継目処理前
設計寸法	数研
実測寸法	作業状況
立会者	

## 第2号谷止工

### 【写真22】

打継目処理剤散布  
(ブリーボンド処理)

ブリード・ボンド散布処理により  
ブラッシング不要でレイタンス  
除去でき省力化



工事名 救済地区災害関連緊急治山工事	
工種	修繕工
位置	打継目処理後
設計寸法	211
実測寸法	212
立会者	

## 第2号谷止工

### 【写真23】

出来形管理



工事名 救済地区災害関連緊急治山工事	
工種	修繕工
位置	打継目 散水養生
設計寸法	状況
実測寸法	
立会者	

## 第2号谷止工

### 【写真24】

散水養生





## 第2号谷止工

【写真25】

出来形管理



## 仮設工

【写真26】

水中ポンプ排水



## 仮設工

【写真27】

仮設道路に大型土のう設計から  
 自社負担でより対候性の高い  
 袋詰玉石袋(ポリ繊維ネット)  
 を施工して資材運搬車両の  
 通行を図った。



安全管理

【写真28】

後方カメラ付きバックホウ

後方監視カメラ搭載油圧ショベル  
を使用し、作業の安全確保



安全管理

【写真29】

同上



安全管理

【写真30】

ツールボックスミーティング



## 地域貢献

自社負担での取水柵設置  
 地権者が沢から用水を取水  
 していたが、災害により困難と  
 なっていたことから、湧水箇所を  
 探し、取水柵を設置した。  
 従前より、きれいな飲料水を  
 確保でき喜ばれている。



## 地域貢献

【写真29】

取水柵の内部



## 地域貢献

【写真30】

取水柵設置後

給水パイプは埋設済み

工事名	被災地区災害関連緊急治山工事
工種	給水工事 略図
位置	取水柵 設置完了
設計寸法	
実測寸法	
立会者	